

弘前大学

國史研究

第140号

日本古代における駅家郷の編成原理とその実態(上) — 近世大名南部家が向き合った「歴史」 — 歴史の捉え方とアーカイブズ政策展開の側面から —	原 京子	1
〔研究ノート〕 弘前藩の蝦夷地警備と青森妙見堂 ↳ 発見された大星神社の鰐口は何を語るか	福井 敏隆	48
〔資料紹介〕 青森県出土文字資料集成 — 『青森県史 資料編 古代2 出土文字資料』以後 —	木村 淳一 秋元 莉絵 佐藤 裕香	71
〔書評と紹介〕 北東北古代集落遺跡研究会編 『9〜11世紀の土器編年構築と集落遺跡の特質からみた、北東北世界の実態的研究』 『青森県史 文化財編 建築』 『岩木山を科学する』・『岩木山を科学する2』	関根 達人 大野 敏 牧田 肇	87 91 96

弘前大学國史研究会

2016・3

本会機関誌『弘前大学國史研究』への投稿について
投稿規定

◎論 文 四百字詰 60枚程度を原則とする（縦書き、以下同様）

◎研究ノート 四百字詰 20枚から30枚程度

◎研究余録 四百字詰 10枚程度

◎史料紹介 四百字詰 10枚から30枚程度

◎その他（書評・研究動向・歴史随想など） 四百字詰 10枚程度

◎ワープロでの執筆に際しては、一段に付き32字×23行で組んで下さい。字数は右の規定の範囲で計算して、それを越えないようにして下さい。

◎デジタルデータによる投稿も可能です（事前に編集委員会へ御相談下さい）。行数・字数は、ワープロ執筆と同様に組んで下さい。なお、プリントアウトした原稿を添付のこと。

◎横書きを希望する時は、あらかじめ本会へご相談下さい。

◎原稿締切 一月末日と八月末日の年2回

※投稿に際しては、図表を最小限におさえ、完成原稿でお願いします。また、原稿は必ず御手でコピーをとって保存しておいて下さい。投稿は本会会員に限ります。

※掲載については、原稿を受領後、編集委員会で審査し、一ヶ月以内に御通知します。なお、文中に掲載許可を必要とする写真・図版等を含む場合には、掲載決定後、著者の責任において権利者から許可の承諾書を取得して下さい。

※掲載分の論文等については、抜刷50部をさしあげます。

※本誌掲載の論文等を転載する場合は、本会の諒承を得て下さい。

平成二十八年三月三十日

弘前大学 國史研究 第一四〇号

036-8560 弘前市文京町一番地

弘前大学人文学部日本史研究室内

編集者
発行者

弘前大学 國史研究会

振替口座 〇二三〇〇一六三四番